

令和5年度保健所圏域地域・職域連携推進事業の実績報告書

資料2

※ 記載時点で未実施のものは(予定)と記載。

保健所	テーマ	協議会		作業部会		共同事業	成果及び課題	備考 (今年度の啓発物等)
		開催回数	内容	開催回数	内容			
記載例	●●対策 平成●●年度～令和●●年度までの●カ年計画		日時： 内容： 出席者人数：	1 第1回作業部会 日時： 内容： 出席者人数： 2 第2回作業部会	1 講演会(タイトル名) 日時： 内容： 参加者：対象及び人数 2 啓発リーフレット作成及び配布 配布対象及び配布数：		1 ●●啓発リーフレット 2 ●●プラン評価計画	
習志野	働き盛りからのフレイル予防～転ばない身体づくり～	1	日時：令和6年3月中 (書面開催で実施予定) 内容：令和6年度の各機関におけるテーマ遂行のための取り組みについて承認を得る。 ①習志野健康通信(令和5年1月発行)の配布 ②フレイル予防に関する取り組み予定の確認	1	日時：令和6年3月中 (書面開催で実施予定) 内容：令和6年度の各機関におけるテーマ遂行のための取り組みについてを検討。	1 タイトル：働き盛りからのフレイル予防～転ばない身体づくり～ 日時：令和5年9月22日(金)14:45～15:00 内容：働く高齢者の増加と若い職員に向けたフレイル予防の必要性、管内の在勤者向けの事業等の案内と活用のすすめ。 参加者：30名(船橋労働基準協会主催の『全国労働衛生週間』事前説明会における講話) 2 啓発リーフレット作成及び配布 上記機会に配布(30枚)	成果：前年度に作成した『ならしの健康通信』を共同事業で参加した事業所に配布することができた。 課題：多機関との連携にあたり、時間をかけて目的の共有や協力関係を築く必要があったが、その時間を確保することが困難だった。	1 ならしの健康通信(R5度改訂版)
市川	地域と職域が連携した生活習慣病対策	1	日時：令和6年2月22日(木) 午後1時30分～3時 (Web開催) 内容： (1)令和5年度市川浦安 地域・職域連携推進 事業概要について (2)令和5年度市川浦安 地域・職域連携推進事業(共同事業)取組結果及び評価(案)について (3)令和6年度事業計画(案)について 出席者人数：20名(オブザーバー2名及び事務局3名含む)	2	1 第1回作業部会 日時：令和5年9月4日(月) 午後2時～4時 内容：「働く世代健康づくりを支える環境づくり」 (1)令和5年度事業計画概要について (2)令和5年度共同事業について ア 「健康的な職場づくりアドバイザー事業」について イ 「健康づくりのための情報共有事業」について (3)情報共有 出席者：10名(事務局3名含む) 2 第2回作業部会 日時：令和6年2月5日(月) 午後2時～4時 内容： (1)令和5年度事業概要について (2)令和5年度共同事業取組結果及び評価(案)について (3)令和6年度事業計画(案)について 出席者：10名(事務局3名含む)	1 健康的な職場づくりアドバイザー事業 実施事業数：1 実施期日：令和6年2月9日(金)及び16日(金) 実施内容： 講演「生活習慣病予防のための食生活改善」 講師 東京栄養食糧専門学校 校長 渡邊智子氏 対象：事業所従事者(87人) 参加者：①2月9日(金) 13人 ②2月16日(金) 14人 2 健康づくりのための情報共有事業 実施内容：市川浦安「ち・しょく」健康づくり通信の配信 協議会構成団体(機関)が行う講演会等の開催案内の他、健康づくりに関する情報をメールにて配信する。 協議会及び作業部会委員を通じて、協議会構成団体(機関)関係者等へ情報提供を行う。 対象：協議会構成団体(機関) 実施回数：①定期配信 2回 ②不定期情報提供 4回	【成果】 今年度から、健康増進計画担当課も参加し、連携強化を図った。 協議会(1回)はWeb開催であったが、作業部会(2回)については対面で開始することができた。 作業部会において、本年度共同事業の実施内容について検討するほか、働く世代の健康課題等について意見交換ができた。 情報共有事業により、関係団体(機関)が取組む事業や健康づくりに関する情報等について共有が図れた。 【課題】 協議会構成団体(機関)が実施する取組について、限定的な連携にとどまっている。 コロナ禍で活動休止期間があった影響もあり、職域における協議会の活動の認知が十分ではない。	【配布リーフレット等】 ・グーパー食生活概要版 ・健康ちば協力店登録マップ(市川浦安)
松戸	働く世代のフレイル対策 令和5年度～令和7年度までの3カ年計画	1	日時：令和5年12月7日(木) 10時～12時 (集合ならびにオンラインによるハイブリット開催) 内容： 議題 テーマ「働く世代のフレイル対策」 (1)令和5年度の事業実施内容報告 (2)啓発媒体案および出前講座案について (3)次年度の事業内容について 出席者人数：18機関 19人	1	日時：令和5年6月22日(木) 14時40分～16時 (勉強会と同日、集合開催) 内容： (1)今年度の事業計画について (2)啓発媒体ならびに出前講座の内容検討 出席者人数：8機関 8人	1 協議会委員・作業部会委員向け勉強会 (集合ならびにオンラインによるハイブリット開催) 日時：令和5年6月22日(木)13時30分～14時30分 内容：「フレイル予防・対策はまさにまちづくり」～働く世代のフレイル対策を視野に入れながら～ 参加者：協議会委員・作業部会委員 28人 2 啓発リーフレット作成及び配布 配布対象：管内市町村、労働基準監督署、労働基準協会、地域産業保健センター、商工会議所、商工会、医師会、歯科医師会、薬剤師会、鉄道会社、銀行、協議会委員所属機関 配布数：2,726部 3 出前講座の実施 第1回：令和5年6月6日 柏労働基準協会主催 第96回労働安全週間事前説明会 参加者 50名 第2回：令和5年9月13日 松戸商工会議所女性会会員研修事業 参加者 15名 4 松戸保健所管内集団給食協議会 給食会報誌 フレイルおよび本協議会の取組について掲載 300施設配布	【成果】 ・委員向け勉強会を開催し、フレイルについて共通理解を図ることができた。 ・顔の見える関係構築のため、委員の所属へ直接出向く機会を増やした。結果、職域部門の委員より出前講座の機会や開催する会議等の情報提供があった。 ・普及啓発のため作成したリーフレットを管内関係機関へ2,726部配布することができた。 ・職域対象に出前講座を2回実施することができた。 【課題】 ・限られた人員、予算の中での効果的な事業運営、人事異動等で担当者の変更が生じやすく同じ構成員で継続的に事業を進めていくことが難しい。 ・事業運営がやや事務局主導となり、構成員同士の主体的な連携が難しい。	1 フレイル予防啓発リーフレット

保健所	テーマ	協議会		作業部会		共同事業	成果及び課題	備考 (今年度の啓発物等)
		開催回数	内容	開催回数	内容			
野田	令和5年度テーマ：『健康づくり After(With) コロナ』 長期計画：『運動・食事・メンタルヘルス・定期的な健康診断の健康づくりに関する基本的な4項目について、持続的な活動へつなげていく。』	1	日時：令和5年6月29日 午後2時00分から3時30分 (Zoom開催) 内容： 1) 令和4年度野田健康づくり協議会実績報告 2) 令和5年度野田健康づくり協議会計画の検討 (1) 協議会・作業部会について (2) 健康づくりに関する啓発物について (3) 健康講演会について (4) 健康セミナーについて (5) 中小事業所向け啓発について 出席者人数：15名	2	1 第1回作業部会 日時：令和5年5月15日 午前10時30分から12時00分 内容： 1) 令和4年度野田健康づくり協議会実績報告 2) 令和5年度野田健康づくり協議会計画の検討 (1) 健康づくりに関する啓発物について (2) 健康セミナーについて (3) 健康講演会、中小事業所向け啓発について 出席者人数：14名 2 第2回作業部会 日時：令和5年8月29日 午前10時00分から11時30分 内容： (1) 健康づくりに関する啓発物について (2) 中小事業所向け啓発について (3) その他 野田市健康・スポーツポイント事業のポスター・台紙の配布 出席者人数：15名	1 健康講演会 柏労働基準協会野田支部と共催 日時：令和4年9月20日(水) 午後2時00分から4時15分 内容：『メンタルヘルスについて』 『職場における健康診断結果の活用、生活習慣病対策について』 参加者人数：管内事業所従業員49名 2 健康セミナー-動画配信 配信期間：令和5年12月から令和6年2月 内容：『働く世代の食からはじめる健康づくり』 (YouTube「千葉県公式セミナーチャンネル」掲載) 3 職場の健康づくりに関するアンケート実施 野田市内中小事業所対象 実施期間：令和5年9月から11月 内容：中小事業所における職場の健康づくりに関する意識・実施状況を中心に調査 回答者数：18名 4 職場の健康づくり講演会(予定) 日時：令和6年2月27日午後1時から3時30分 内容：『「会社の業績向上」と「従業員の活力向上」を二重どり！「健康経営」導入のススメ』 「みんなで健康(仮称)」 「有所見者への職場からのアプローチ」 「協会けんぽ千葉支部の取組紹介」 5 オンラインフィットネステストの管内事業所活用に関する調整 日時：令和5年4月から令和6年3月 内容：管内大学教授が開発及び提供のシステムを管内事業所が職場の健康づくりの一環として活用できるよう適宜調整を行っている。現在2事業所が活用し健康づくりを行っている。	成果 健康講演会、健康セミナー、啓発物の発行と、野田市内事業所および市民の方々に健康づくりを啓発する機会を作ることが出来た。 職場の健康づくりに関しては野田市内中小事業所における実態や意識について調査することが出来た。また、職場の健康づくりに関する情報発行を受けたいという事業所の連絡先を知る事ができ、適宜メールにて情報提供を行うことが出来ている。 協議会構成機関より、職場の健康づくりに関する啓発について情報提供や講話、運営協力を申し出があった。働き盛り世代への健康づくりを協議会として連携することに関心を持っている様子が見受けられた。また、商工会に所属する委員が毎月発行している会誌に健康経営に関する記事を掲載してもらうことが出来、職場の健康づくりに関心を持ってもらうきっかけづくりができた模様。 課題 オンラインフィットネステストの参加者が増加しない。職場の健康づくりに関するアンケートでは約80事業所へ回答依頼を行ったが、回答率は30%に及ばなかった。講演会の参加者は募集しているため現在不明だが、総じて野田市内事業所における職場の健康づくりへの関心を高める方法や、より効率的な周知方法や媒体の検討が必要である。 追加令達が例年と比べ5分の1の予算となり、令達時期が2か月以上遅かった。予算額も課題だが、令達時期により啓発物の完成も年度末になる予定。啓発物について協議会構成員に寄稿してもらう関係もあり、作業部会で概要を決定していた。しかし短い期間での媒体や部数、配布時期の大幅な変更が必要となり、協議会構成員から苦言があった。概算予算だけでも早めに提示いただければありがたかった。	1 啓発物の作成・発行(予定) 日時：令和6年3月中旬から配布開始 内容：リーフレット1000部 「メディカルフィットネスについて」「協会けんぽが実施している保健事業について」「野田市食生活改善推進委員会の主な活動」「メンタルヘルス講話 職場における心の健康づくり」
印旛	働く世代から始める生活習慣病の発症予防・糖尿病重症化予防 平成29年度～令和5年度までの7カ年計画	1	開催日時：令和6年1月31日(水) 午後2時～3時 参加人数：26人(事務局6人含) 内容 1 令和5年度事業について 2 平成29年度～令和4年度事業の評価について 3 令和6年度事業計画について	1	開催日時：令和5年8月9日(水) 午後2時～3時30分 参加人数：19人(事務局5名含) 内容 1 印旛郡市がん検診の周知について 2 歯科健診の受診勧奨(広報誌について) 3 印旛地域・職域連携推進事業の評価について 4 次年度のテーマについて	(1) 労働者に向けた「全国安全週間、年末年始無災害運動説明会」時に健康教育を実施 ・令和5年5月30日 参加者78名(メタボリックシンドロームについて) ・令和5年11月28日 参加者78名(喫煙とメタボリックシンドロームの関係) (2) 歯科健診の受診勧奨用広報誌の作成、配布 「歯科健診の受診勧奨」広報誌・チラシを作成し、配布・掲載 2226枚(年度末再集計)。	「平成29年度より働く世代から始める生活習慣病の発症予防、糖尿病重症化予防」をテーマとして取組んでおり、本年度が最終年度とし評価を行った。7年間の取組みのうち、4年間で新型コロナウイルスが流行期であり行動変容の優先順位が異なったことで、健康課題や検診勧奨等について十分評価することができなかった。またこれまでの生活習慣の変容から浮き彫りになった地域の健康課題について新たに見直す必要があった。 地域・職域連携推進協議会の構成員の中でも、労働者への健康づくりに関する意識が2極化しており、これまで以上に地域社会の中で連携し、お互いに活性化に貢献できるような体制を強化する必要がある。	1 印旛郡市がん検診受診勧奨ポスター2種 「2人に1人はがんになります」、「がん検診のご案内」は終了。 2 歯科健診の受診勧奨用広報誌の作成。配布を継続
香取	働きざかりの身体を動かす習慣づくり 令和5年度～令和9年度までの5カ年計画	1	日時：令和5年12月7日(木) 10時00分～11時30分 内容： (1) 令和5年度から令和9年度までの具体的な取組みについて (2) 取組む上での評価指標について 出席者人数：27名 (委員20名、オブザーバー2名、事務局5名)	1	日時：令和5年7月7日(金) 14時00分～15時50分 内容： (1) 具体的な取組み内容の検討について (2) 取組む上での評価方法の検討について 出席者人数：17名 (委員12名、随員1名、事務局4名)	1 講演会(働きざかりの健康づくりについて) 日時：令和5年9月20日(水) 13時00分～14時10分 内容： (1) 働きざかりの身体を動かす週間づくり (2) 健康づくりに関して～運動・休養・栄養～ 参加者：エヌデーシー株式会社 班長以上の従業員、事務職の10名 2 啓発リーフレット作成及び配布(予定) 3 情報提供 (1) 令和5年5月29日(月)成田労働基準協会主催の全国安全週間説明会で、「働きざかりの身体を動かす習慣づくり」のミニ講話とリーフレットの配布を実施した。希望者には、健康教育教材「働きざかりの心の健康」のパワーポイント版が入ったCD-Rを配布した。 (2) 令和5年7月26日(水)香取教育研究協議会保健研究部研修会で「働きざかりの身体を動かす習慣づくり」のミニ講話を実施した。 (3) 保健所ホームページの掲載内容拡充と周知(予定)	【成果】 1 「身体を動かす習慣づくり」を周知啓発するために作業部会や協議会を通じてリーフレットの内容を検討し、作成した。今後、関係機関を通じて配布予定。 2 講演会や説明会の機会を通して事業所の方々の話を聞くことができ、顔の見える関係づくりにつながった。 【課題】 香取地域・職域連携推進協議会で取組み、身体を動かす週間づくりが浸透した結果をアンケートで評価することとしたが、ある程度アンケートが回収できないと評価できないため、アンケートの回収率を上げる工夫が必要である。	1 リーフレット「かとり+10」を発行(予定) 通常版(A3)よ簡易版(A4)あり 2 関係機関の機関誌に「身体を動かす習慣づくり」に関する記事を掲載

保健所	テーマ	協議会		作業部会		共同事業	成果及び課題	備考 (今年度の啓発物等)
		開催回数	内容	開催回数	内容			
海匠	生活習慣病予防対策の推進と心の健康づくり 令和5年度～令和7年度までの3ヶ年計画	1	日時：令和6年2月7日（水） 午後2時～3時30分 内容： 1. 海匠地域の健康状況と課題 2. 令和5年度アクションプランの進捗と今後について 3. 旭市におけるCCDプロジェクトの取り組み 出席者人数：委員15名+オブザーバー等3名、保健所5名	1	1 第1回作業部会 日時：令和5年11月28日 午後3時30分～4時30分 内容： ・同日開催した「事業所担当者との座談会」の振り返り ・次年度に向けた取り組みの検討 出席者人数：部会員7名 保健所4名	1 事業所担当者との座談会（メンタルヘルス対策） 日時：令和5年11月28日 午後1時30分～3時30分 内容：日頃の従業員のメンタルヘルス対策についての悩みや対応方法についての共有と情報交換 参加者：管内の中小事業所の経営者や衛生管理責任者 4事業所5名 作業部会員7名 保健所4名 2 イベントへの参加 旭中央病院まつりへの参加 令和5年9月3日 食とメンタルヘルス対策についてのクイズやチラシの配布、啓発の実施 配布数：約1000部 3 啓発リーフレット作成及び配布 「やさ・しー・い食の応援店」チラシ配布 各市 1000部ずつ計3000部 管内理美容関係者研修会 250部 「こらく健康通信」チラシ配布 各市 500部ずつ計1500部 4 旭市CCDプロジェクトとの協働（食の応援店） 糖尿病発症予防のため、市の事業と共に啓発	・コロナが5類移行に伴い周知や啓発をする機会が増え、積極的にイベント等へ参加し、直接市民向け啓発を行うとともに、各市の事業再開に合わせてチラシの配布等の協働もできた。 ・海匠「やさ・しー・い食の応援店」については、既登録店舗への継続確認等を電子申請可能とし、より運用しやすい体制を推進している。 ・「やさ・しー・い食の応援店」の店舗拡充or増加になかなか結び付かないが、旭市のCCDプロジェクトと協働し店舗拡充や市民への周知啓発を開始した。 ・メンタルヘルス対策は、職域である事業所と座談会を開催したことで、ニーズをとらえることができた。また、部会員と協働したことで、共有ができた次年度に向けた方向性が確認できた。 管内の事業所に広く周知ができるような方法を検討し、取り組んでいきたい。	「やさ・しー・い食の応援店」紹介チラシを配布 「こらく健康通信海匠！」 創刊号から第7号及びストレスチェック表を配布
山武	フレイル予防対策「働く世代からフレイル予防を意識した健康づくり」 令和3年度～5年度まで 3か年計画の3年目	1	日時：令和6年2月26日（月） 午後1時30分～3時 内容： （1）令和3～5年度 取組実績及び取組状況について （2）令和6年度計画（案）について （3）その他 出席者人数：31名 （委員18名、作業部会員7名、事務局6名）	2	1 第1回作業部会 日時：令和5年7月11日 午前10時～11時40分 内容： ・令和4年度取組実績と令和5年度取組計画 ・令和5年度共同事業（リーフレット配布、動画の周知活用、フレイル予防調査等） 出席者人数：18名 （作業部会員12名、事務局6名） 2 第2回作業部会 日時：令和5年12月19日 午前10時～12時 内容： ・令和5年度組状況について ・令和6年度計画（案）について 出席者人数：17名 （作業部会員11名、事務局6名）	1 フレイルの健康への影響について周知 ① リーフレット「働き盛りの40歳代から始めるフレイル予防」の改訂（QPコード掲載、データ更新）し、管内薬局、市町等から配布予定 ② 情報発信として委員所属各機関による広報・会報誌掲載（JA山武、東金商工会議所、東金市、九十九里町、芝山町）、各機関のホームページ掲載やSNS発信 ③ 動画の改訂・YouTube公開 労働基準監督署の集団指導での放映等で活用 ④ 電子版フレイル予防調査（新規） フレイルの認知度やリスク把握と周知を目的に実施事業所向けに新たに電子版を作成し、周知を図った。 ⑤ 健康教育 労働衛生週間説明会 1回 令和5年9月7日 参加者105名 集団給食事業所への健康教育 5回 令和5年9月～12月 参加者 計266名 市町等健康教育や労基署集団指導で発信 計15回 2 健診等の情報発信により自己管理を推進 「お住いの市町等の健康に関するサービス一覧」 令和5年4月特定健診やがん検診等に関する情報を集約し関係機関に配付、ホームページに掲載した。	・リーフレットは各機関から配布、JAや市町等広報掲載、動画の活用によりフレイル予防の周知を図ることができた。予算削減により改訂版リーフレットはコピー印刷で部数減少となるため、不足分はデータ配布で補う予定である。 ・事業所向けフレイル予防調査は、事業所のペーパーレス化に併せ新たに電子版フレイル予防調査を作成し9月から公開・周知を図ることができた。回答数が少ないためさらなる周知が必要である。 ・今年度は3年計画の最終年度ではあるが、新型コロナウイルスの影響で約2年間対面での啓発が制限され、周知が十分でなくフレイルの認知度が低いいため、1年間の取組延長を提案し、継続することとなった。	1 改訂版リーフレット「働き盛りの40歳代から始めるフレイル予防」 2 動画改訂・YouTube公開 「働き盛りの40歳代から始めるフレイル予防」 3 電子版フレイル予防調査 4 「お住いの市町等の健康に関するサービス一覧」
長生	糖尿病重症化予防対策 令和3年度～令和7年度までの5か年計画	1	日時：令和5年11月30日（木） 午後2時～3時30分 内容： （1）令和5年度地域・職域連携推進事業実績報告 （2）令和6年度地域・職域連携推進事業事業計画 出席者人数：31人	2	1 第1回作業部会 日時：令和5年7月27日～8月10日 （書面開催） 内容： （1）糖尿病重症化予防の普及啓発について （2）健康ポイント事業について 書類送付機関数：13機関 2 第2回作業部会 日時：令和6年1月22日（月） 午後2時～3時30分 内容： （1）令和5年度協議会報告 （2）事業の最終年度に向けた活動の整理について （3）グループワーク テーマ1：働く世代を含めた普及啓発の実施について テーマ2：身体活動・運動に関する事業・取り組みについて 出席者人数：17人	1 チラシの普及啓発 各地域・職域保健機関においてチラシ3種類（①本当は怖い糖尿病 ②長生地域の4人に1人！糖尿病・糖尿病予備群 ③あなたのお昼ご飯の栄養バランスは？）を配布し、窓口配架やイベントでの配布等積極的に周知を行った。 配布枚数：チラシ①約8,100枚 チラシ②約2,800枚 チラシ③約1,200枚 2 健康教育 保健所や市町村の保健師・栄養士が、労働基準協会や事業所が実施する講習会や役員会等の場を活用し、従業員に向けた健康教育を実施した。 3 ホームページの更新 長生保健所ホームページの地域・職域連携推進協議会に関するページを更新し、協議会での取り組みや糖尿病重症化予防普及啓発のためのチラシのデータを更新した。 4 広報誌への掲載 各地域・職域保健機関が糖尿病重症化予防に関する記事を広報誌に掲載したり、チラシを同封し、幅広い対象者に向けて普及啓発を行った。 5 健康ポイント事業一覧表の作成 管内市町村が実施する健康ポイント事業を一覧にまとめた媒体を作成し、職域保健機関を中心にホームページの掲載等周知を行った。	【成果】 ・令和5年度の作業部会構成員として新たに商工会議所が加入し、職域保健機関との連携強化につながった。 ・各地域・職域機関が共同し、計約12,000枚のチラシを配布した他、保健所や商工会議所のホームページにチラシデータを掲載することで、幅広い対象者に周知することができた。 ・市町村の健康ポイント事業をまとめた一覧表を作成し、職域保健機関を中心に活用してもらおう等、新たに運動に関する啓発を行うことができた。 ・保健所や市町村職員が講師となり、事業所従業員を対象に健康教育を行い、地域・職域保健機関が連携した取り組みを行うことができた。また、健康教育の重要性を各機関が理解し、来年度は実施機関や回数を拡充することが決定しており、幅広い対象者への普及啓発に向けて、広がりを持った活動を展開する体制を整えることができた。 【課題】 ・「糖尿病重症化予防」をテーマとした事業は令和7年度が最終評価年度であり、評価方法や評価指標等、来年度以降事業の振り返りを行っていく必要がある。 ・テーマが終了する令和8年度以降も各機関で広がりを持った取り組みを継続的に実施できる体制や方法を検討する必要がある。	○チラシ ・本当は怖い糖尿病 ・長生地域の4人に1人！ 糖尿病・糖尿病予備群 ・あなたのお昼ご飯の栄養バランスは？ ・長生保健所管内市町村令和5年度健康ポイント事業一覧表 ○啓発記事の掲載 ・保健所日より ・茂原労働基準協会広報誌 ・長生農業協同組合の広報誌

保健所	テーマ	協議会		作業部会		共同事業	成果及び課題	備考 (今年度の啓発物等)
		開催回数	内容	開催回数	内容			
夷隅	糖尿病重症化予防対策 令和元年度～令和6年度までの6カ年計画	1	日時：令和5年10月30日(月) 午後2時から午後4時まで 内容： (1) 報告事項 ・令和4年度までの事業報告について (2) 協議事項 ・令和5年度事業計画(案)について ・令和6年度事業計画(案)について ・夷隅地域・職域連携推進協議会運営要領(案)について 出席者人数：27名(委員19名、オブザーバー4名、事務局4名)	1	日時：令和6年3月4日(月) 午後1時30分～3時30分 (予定) 内容： (1) 令和5年度事業実績及び啓発物の作成状況等について ア 令和5年度事業実績 イ 健診受診啓発用チラシの改訂 ウ 小中学校保健だよりに掲載予定の保護者向け記事 エ 健康づくりに関するスライド動画等の作成状況 (2) 令和6年度事業計画について ア スケジュール イ 啓発物の活用予定 ウ 事業評価方法 (3) その他	1 健診受診啓発用チラシの改訂 昨年度、管内大学と共同して作成し活用しているところだが、協議会委員より目に留まりにくい等の意見があり、キャッチコピーを作成しそれを加えた形で改定中である(管内大学看護学部学生と共同)。 2 健康づくりに関するスライド動画等の作成 短時間のスライド動画等を作成し、働き盛り世代の方々に都合のよいときに見てもらえるようQRコードで読み取ってもらい配信する予定。今年度は①糖尿病②健診③運動について、スライド動画等を作成中。それぞれ、医師会、市町、管内大学の協力を得ながら作成中である。 3 小中学校保護者向け記事の作成 小中学校を通して保護者向けに健康づくりに関する啓発をするため、次年度に保健だよりの一部の記事を掲載させていただく予定。その記事を管内大学と共同して作成中。上記動画を読み取ってもらうように案内する予定。	【成果】 ・本テーマの取組は5年目であり、これまで新型コロナ等のため集合による協議会ではできず書面開催等が続いていたが、今年度は令和元年度以来となる協議会の集合による開催ができ、改めて事業実施の経過や目標等を共通理解することにつながった。また、委員からは活発な意見交換があり、事業の展開方法について承認を得るとともに、事業を実施する上での具体的な協力を合意を得ることができた。 ・健診受診啓発用チラシの改定版を完成予定(共同作業1)。 ・働き盛り世代へ健康づくりに関するアプローチするための効果的・効率的な方法について検討し、スライド動画等を作成することとした(共同作業2)。 ・小中学校の保健だよりに掲載する保護者向け健康づくりに関する啓発記事を作成することとした(共同作業3) 【課題】 ・次年度が本テーマの最終年度となるが、最終評価方法について要検討。 ・働き盛り世代のうち特に自身や家族の健康に関心を寄せることがなかなか難しい層に対して、どのように効果的にアプローチできるか。	・保健所だよりへの記事掲載 ・労働基準協会会報への記事掲載 ・健診受診啓発用チラシ 〔今年度作成し次年度活用予定〕 ・健診受診啓発用チラシ改定版 ・小中学校保健だよりへの保護者向け掲載記事 ・健康づくりに関するスライド動画等①糖尿病②健診③運動
安房	ロコモティブシンドローム予防対策 令和4年度～令和9年までの6カ年計画	1	日時：令和6年2月2日 午後2～4時 内容： (1) 令和5年度安房保健所地域・職域連携推進事業の実績 (2) 健康に関するアンケート調査結果 (3) 安房保健所地域・職域連携推進事業評価指標について(案) (4) 令和5年度安房保健所地域・職域連携推進協議会作業部会結果 (5) 安房保健所地域・職域連携推進事業の実施計画(令和4～9年度)について(案) (6) 令和6年度安房保健所地域・職域連携推進事業(案) (7) 普及啓発について(案) (8) その他 出席者人数：24名	2	1 第1回作業部会 日時：令和5年6月26日(月) 午後3時～5時 内容： (1) 地域・職域連携推進協議会の概要について (2) 安房保健所地域・職域連携推進事業計画について (3) 令和4年度事業実績について (4) 令和5年度計画について (5) 実態調査の内容について (6) その他 出席者人数：17名 2 第2回作業部会 日時：令和5年12月18日(月) 午後2時～4時 内容： 報告事項 (1) 実態調査結果について (2) 令和5年度事業実施報告について 議事 (1) 評価指標及び目標値の設定について (2) 令和6年度事業スケジュール(案) ・事業所介入について ・保護者への介入について ・啓発媒体について (3) その他 出席者人数：15名	1 講演会 ①全国労働衛生週間説明会 日時：令和5年9月7日(木) 午後3時10分～3時50分 内容：講演「ロコモ予防推進の意義～ロコモ対策は生産性向上のキーワード～」 講師 亀田総合病院リハビリテーション事業管理部 部長 村永信吾氏 参加者：令和5年度「全国労働衛生週間」説明会参加者等70名 ②安房保健所管内栄養士会研修会 日時：令和5年11月29日(水) 午後2時～4時半 内容：講演「ロコモティブシンドロームの予防と対策」 講師 亀田総合病院リハビリテーション事業管理部 部長 村永信吾氏 理学療法士 西山新治氏 健康運動指導士 宮本瑠美氏 参加者：管内栄養士会員等37名 ③鋸南中学校教育講演会(予定) 日時：令和6年3月18日(月) 午後1時25分～2時30分 内容：講演「(仮)1日1分で未来が変わる～知らなかった運動のはなし～」 講師 亀田総合病院スポーツ医科学センター 健康運動指導士 宮本瑠美氏 参加者：鋸南中学校1～2年生徒75名、PTA等 2 イベントの開催 ①私の体力チェック/館山市 日時：令和5年10月7日(土) 内容：ロコモ度測定 参加者：館山市民、スタッフ等65名 ②第11回”かもがわ”福祉でまちづくりフェスティバル/鴨川市 (まちの保健室と合同ブースで開催) 日時：令和5年10月28日(土) 内容：ロコモ度測定 参加者数：鴨川市民、スタッフ等60名 3 ロコモティブシンドロームに係る実態調査 〔調査対象〕 ①安房管内商工会議所、商工会会員/②安房郡市内の小学校5年生・中学校2年生の保護者 〔調査期間〕令和5年7月～9月(8月末から延長) 〔配布数〕①2,127/②1,567 〔回収数〕①3名/②362名(回収率23.1%) 4 保健所だよりの掲載 令和5年8月 5 地域新聞掲載(28000部発行) 令和5年9月 6 保健所ホームページ掲載 7 啓発チラシ配布 配布対象：内房商工会員(350枚)、鴨川市商工会員(1050枚)	【成果】 ・実態調査で管内の状況が把握でき、地域の課題が見えた。 ・既存のイベントへの参加は運動や生活習慣を見直すきっかけになったと思われる。 ・協議会や作業部会の他、共同事業の実施を通して関係各機関との連携の強化につながった。 【課題】 ・調査では就労している世代への介入が必要な状況と考えられたため、確実な介入方法として学校の事業を通して親子で考える機会を作り、学童期からロコモ予防に取り組みると良い。広報誌や地域紙で啓発で引き続き一般住民に啓発したい。 ・商工会会員からの実態調査の回収率が低く電子申請サービスを利用した方法は向いておらず、全体の実態が把握できない。今後は、紙やFAXなど方法を見直す必要がある。事業所への直接的な介入をモデルとし、地域全体に広げていきたい。	1 安房保健所だより(8月) 2 ロコモティブシンドローム普及啓発キャラクター 3 ロコモティブ普及啓発リーフレット

保健所	テーマ	協議会		作業部会		共同事業	成果及び課題	備考 (今年度の啓発物等)
		開催回数	内容	開催回数	内容			
君津	【テーマ】働く世代の生活習慣病の改善～肥満・高血圧対策～ ・令和5年度～令和8年度までの4か年計画	1	日時：令和6年2月15日(木) 午後2時～4時(集合開催) 内容： ①令和5年度君津地域・職域連携推進協議会の取組について ②運動に係るリーフレットの承認及び活用について ③令和5年度各機関の取組について ④令和6年度君津地域・職域連携推進協議会計画について 出席者人数：19人	1	第1回作業部会 日時：令和5年10月25日(水) 午後2時～4時 内容： ①君津地域・職域連携推進協議会について ②運動に係るリーフレット(案)の作成について ③その他 出席者人数：12人	1 運動リーフレットの作成 作業部会で検討し、作業部会(案)を作成。 内容：すきま時間でできる運動・ストレッチの紹介等 2 出前講座リストの作成 協議会関係機関の実施可能な出前講座を確認し、一覧表を作成。(内部資料として活用) 3 管内スーパーと連携した取組の実施 日時：令和5年6月1日～15日、令和5年11月1日～15日 内容：野菜たっぷり食塩控えめ弁当の販売(県内全店舗) 「野菜摂取増」「減塩」ポップの設置(富津店)店内での普及啓発イベント実施(富津店)等 4 全国労働衛生週間説明会における協議会事業の周知 内容：(一社)労働基準協会の主催する説明会において、管内の健康課題や、協議会事業について説明を行った。 5 令和5年度健康づくり研修会の開催 開催日：令和5年9月29日(ハイブリッド開催) 対 象：給食施設、健康ちば協力店、健康づくり関係団体、地域・職域連携推進協議会関係機関、各市担当者 等 参加人数：95人 【内容】 講演：「自然に健康になれる持続可能な食環境づくりとは一おいしい減塩の取組事例より」 講師：淑徳大学看護学部栄養学科講師 坂口 景子氏 その他：協議会事業の周知 6 君津中央病院主催「きみフェス」における健康づくり普及啓発 君津中央病院にて、肥満予防・改善に向けた生活習慣(食事・生活習慣病チェックリスト)の啓発を行った。 7 ホームページを活用した情報発信	【成果】 ○今年度から作業部会に4市商工会・商工会議所を追加した。共同事業の運動リーフレット(案)の作成では、地域と職域双方で活発的な意見交換を行うことができた。 ○各機関がテーマに沿った取組の実施を行い評価することができた。 【課題】 ○リーフレットの効果的な周知方法について検討する必要がある。 ○限られた予算でどのように事業を行うか事務局と関係機関とのすり合わせが必要である。	1 運動リーフレット(予定) 2 君津保健所HPで協議会事業の取組を紹介(予定) 3 出前講座リスト 4 生活習慣セルフチェックシート(チラシ) 5 あなたも運動ははじめませんか(チラシ)
市原	生活習慣病対策(令和6年度～令和8年度までの3年計画)	1	日時：令和5年8月7日(月) 対面開催 内容： (1) 令和4年度市原地域・職域連携推進事業実績について (2) 連携推進事業次期計画について (3) 令和5年度市原地域・職域連携推進事業計画について (4) 報告：市原市におけるフレイル予防事業について (5) その他 参加者人数：21名(事務局含む)	1	日時：令和6年2月20日(火) 対面開催予定 内容： (1) 令和5年度市原地域・職域連携推進協議会開催報告について (2) 市原地域・職域連携推進事業次期計画について (3) 次期計画にもとづく地域・職域連携推進事業について 参加者人数 未定	1 協議会チラシを活用した啓発普及 2 市原保健所ホームページを活用した情報発信 3 保健所だより(2回発行)を活用した情報発信 8月号：肥満予防、3月号：フレイル予防 4 健康づくり研修会(オンデマンド研修) 日時：令和6年3月中旬公開予定 内容：講演「バランスのよい食生活を実践しよう～ゲー・パー食生活を活用して～」 講師：東京栄養食糧専門学校 校長渡邊智子氏 対象：市原地域・職域連携推進協議会委員 及び 作業部会委員等	【成果】 協議会を4年ぶりに対面開催とした。全委員が出席し、今後の連携事業について検討・共有することができた。 【課題】 次期計画に基づく連携事業について、予算や人員を考慮し効果的・効率的にすすめる必要がある。	*保健所だより 8月号、3月号(各9000部) *「フレイル予防」をテーマとした協議会チラシを作成予定 *「受動喫煙」をテーマとした協議会チラシを改定予定

保健所	テーマ	協議会		作業部会		共同事業	成果及び課題	備考 (今年度の啓発物等)
		開催回数	内容	開催回数	内容			
千葉市	【テーマ：支援の方向性（3本柱）】 ・健診（特定健診・がん検診等含む）受診率向上・健康づくり対策 ・受動喫煙防止対策 ・メンタルヘルス（自殺対策含む）対策	1	日時：令和6年3月26日（予定） 内容：（1）部会長及び副部会長の選任について （2）千葉市健康づくり推進事業所認証制度について （3）地域保健と職域保健の連携支援機関の活動内容と取組みについて 出席者人数：17人（予定）			1 健康づくり推進事業所認証事業の普及啓発 2 健康づくり推進事業所への取り組み支援 ・健康づくりに関する情報提供 ・出前講座等の実施 3 就労世代向け健康情報リーフレットの作成及び配布（3月に完成予定） 4 区支援連絡会における地域保健と職域保健の連携事業の実施・調整	1 健康づくり推進事業所への健康づくりの取り組み支援 (成果) ・令和5年表彰事業所：15事業所 ・セミナー及び情報交換会参加数：15事業所10名参加（令和5年12月26日実施） ・年2回の健康情報提供 (課題) 市の支援だけでなく、連携支援機関による支援の活用を検討 2 健康づくり推進事業所認証事業の普及啓発 (成果) ・認証事業所：70事業所（R5.12月末現在）うち令和5年度新規認証9事業所 ・関係機関による普及啓発（千葉産業振興財団・千葉県衛生管理者協議会等と連携） ・連携協定事業所による普及啓発（明治安田生命保険相互会社） (課題) ・クラスアップのための支援に係るインセンティブを具体的に調整する必要がある。 ・企業母体が大きい事業所からの申請が多く、本来メインターゲットとしたい中小零細企業へどうアプローチするか。 3 就労世代向け健康情報リーフレットの作成及び配布（3月に完成予定） (成果) 就労世代に知ってもらいたい「健診」「生活習慣病予防」「こころと体」「仕事と治療の両支援」「禁煙・受動喫煙対策」の内容を盛り込んだリーフレットを作成。推進事業所従業員や就労世代が集まるイベントで配布予定 (課題) 多くの就労世代に関心を持ってもらえるよう、啓発方法の工夫が必要 4 区支援連絡会における地域保健と職域保健の連携事業の実施・調整 (成果) 市内6区において、それぞれ2回ずつ開催。美浜区では新たに職域から1機関が新規で参加。 (課題) 区によって連携状況にばらつきがある。区における連携の好事例などの情報共有が必要	・千葉市健康づくり推進事業所認証制度の案内リーフレット ・働く人の健康づくりサポートガイド ・健康づくり推進事業所啓発用封筒（角2・長3）（推進事業所名をPR）
船橋市	【方向性】 健康づくりに取り組む事業所が増えるよう、活動を進める。 【テーマ】 ・喫煙対策 ・メンタルヘルス対策 ・生活習慣病予防対策 (女性の健康対策)	1	日時：令和5年11月2日（木） 14:00～16:00 内容： 1. 令和4年度の協議会の取り組みの報告 協議会及び作業部会にて、事業所が自主的に健康づくりに取り組むために何が必要かを検討し、それを踏まえて、事務局にて協議会として取り組むこと（案）をまとめ、各種様式を作成した。 2. 今後の取り組みの方向性 健康づくりに取り組む事業所が増える取り組みとして ①協議会の取り組みの周知、②事業主へのアプローチ、③事業所へのアプローチを軸に、健康づくりのためのお役立ちガイドやその他啓発用のチラシの作成・配布、出前講座の実施等を進めていく。併せて、事務局既存事業（健康ポイント事業やふなばしMOREページ協力店推進事業）と連携していく。 出席者人数：24人	1	日時：令和5年12月21日（木） 15:00～17:00 内容： 1. 全体での共有 ①今後の取り組みの報告性 ②健康経営について 2. 各部会での検討 健康づくりに取り組む事業所が増える（健康経営に取り組む事業所が増える）よう、活動を進めるにあたり、①協議会の取り組みの周知、②事業主へのアプローチ、③事業所へのアプローチを行う。①～③を協議会として実行していくために、具体的な内容・方法を検討する。 3. 全体での共有 各部会の検討内容について共有・質疑応答 出席者人数：26人	1. 協会けんぽ千葉支部の協力を得て、協会けんぽ千葉支部に加入する船橋市所在の事業所で「健康な職場づくり宣言」をしている事業所に対して、チラシ『地域・職域連携推進協議会をご存知ですか?』を送付（令和5年12月、200部） 2. メンタルヘルス対策として職域の方々を対象にゲートキーパー研修を実施 ①日時：令和5年7月18日（水）19:30～21:00 内容：声かけと傾聴で悩む人の孤立を防ぐ～いのちを守る言葉と行動～ 対象者：船橋薬剤師会会員（参加者17人） ②日時：令和5年12月25日（月）10:00～11:30 内容：キャンパスにおけるゲートキーパーの役割～支えて守ろう こころといのち～ 対象者：東邦大学習志野キャンパス教職員（参加者29人） 3. 船橋労働基準監督署主催の集団指導の場にて、地域・職域連携推進協議会の周知及び健康経営についての説明を実施 4. 船橋市医師会認定産業医研修会の開催（予定） 日時：令和6年3月14日（木）19:30～21:00 内容： ①地域・職域連携推進協議会と健康経営 ②全国健康保険協会千葉支部の取り組み ・健康な職場づくり宣言について ・特定保健指導について ③船橋市地域・職域連携推進協議会としてのサポート体制	【成果】 ○健康づくりに取り組むための事業所を増やす取り組みについて協議会にて検討することができた。 ○協議会委員と協力・連携し、左記の共同事業1～3を実施できた。 今後、左記の共同事業4を実施予定である。 【課題】 ○地域・職域連携推進協議会についてや、健康経営についてをより多くの方に知ってもらえるよう、啓発媒体内容の充実や啓発方法の工夫が必要である。 ○健康づくりに取り組む事業所が増えるようなインセンティブ制度の仕組みづくりが必要であるが、事務局だけでなく庁内全体を巻き込んで検討する必要がある。	○健康づくりのためのお役立ちガイド（リーフレット）
柏市	地域保健と職域保健が連携し、柏市民や柏市で働く人々の生活習慣病の発症予防や重症化予防及びこころの健康づくりを通して生涯を通じた健康づくりを推進する	2	【第1回】 日時：令和5年7月20日（木） 14:00～15:30 内容：令和5年度事業計画について等 出席者人数：委員5名 【第2回】（予定） 日時：令和6年3月21日（木） 14:00～15:30 内容：令和5年度活動実績報告について等 出席者人数：委員7名			1. メール配信による事業所への健康情報の提供：1回/月 2. 啓発リーフレット作成及び配布：柏市内事業所約2,000部配布 3. 事業所における健康づくりに関する実態調査：職域保健関係機関を通じて約5,000事業所へ調査依頼	【成果】 ・メール配信による事業所への健康情報の提供については、毎月啓発資料を添付、及び庁内連携によりフレイル予防に関する啓発を開始した。 ・協議会委員を通じて定期健診結果集計を共有し、市の健康課題を協議会で共有した。 ・事業所における健康づくりに関する実態調査を実施し、取組状況や困っていること、市へ期待するサービスについて情報収集した。 ・職域保健関係機関を通じて、健康情報を記載したチラシの配布、及びセミナーにて保健サービスの周知を実施した。 【課題】 ・保健サービスに関する認知が広がらず、活用する事業所の数が増えていないため、周知の強化が必要。	柏市で働く人のための健康増進ガイド